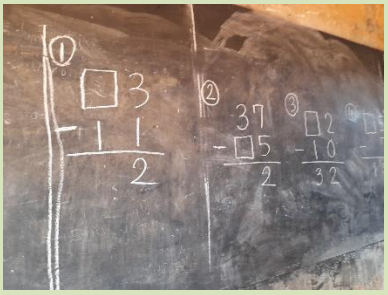
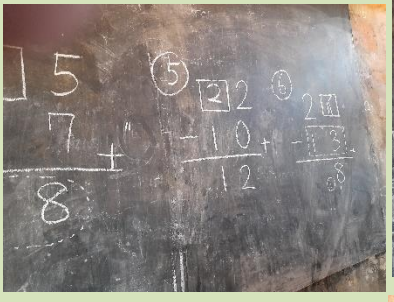
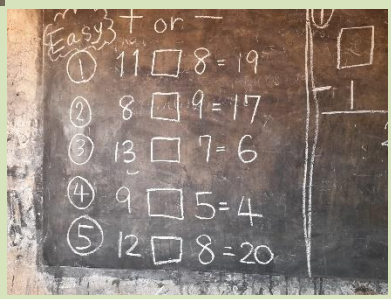
ガーナでそろばんプロジェクト 107 号（2023 年 4 月 30 日）

★★ 基本を大切に。全員がわかるまで。 ★★

２学期が４月中旬より始まりました。２０２３年は、たいへん短い年度です。２月中旬に政府が正式に今年度の終わりを９月にすると発表したのです。１月新年度が始まった時は丸一年のスクールカリュキュラムで安心していたのですが、２月に正式にアカデミックカレンダーが発表されたのです。１月に始まり９月に終わるというとても短い年度です。一回一回の授業がとても大切になってきます。今月は、６年生で虫食い計算の引き算を授業で行ないました。前回（105 号）は虫食いのたし算を行ないました。引き算の虫食いに入る前に数の概念をおさらいする目的で、マスの中にプラス、マイナス、どちらの記号が入るのか簡単な問題から始めました。プラス、マイナスの記号を入れる問題も引き算の虫食いも日本だと2年生3年生でやる問題です。ガーナにおいても以前書いたことがありますが、3年生で4桁の繰り上がりのある計算をやっていますが、たいせつな繰り上がり繰り下がりの説明がされないままでいるので、計算の理解が出来ないでいると中学クラスになっても棒を書いて計算してしまうのです。ガーナの教育的には4桁の計算を3年生でやろうが、日本の教育で2年生3年生でやることであっても大切な基本をやりました。今回、引き算の虫食いをやって気づいたのが、マスの中に答えを2桁書く生徒がいました。それは繰り上がった up ten※生徒には繰り上がりを up ten で指導しています。）数字は既に十の位に予め書かれているのにマスの中にその分の数字を書いていました。実際に前に出てきて計算した生徒はマスの中には一桁のみが入ることに気づきましたが、自らが計算していないと気づかない生徒もいます。この点は引き続き、全員がわかるまで指導していきたい課題となりました。







協賛

トモエそろばん様

報告　TOSHIKO